

記入日：2024/12/27

法文学部言語文化学科 4年

高田莉々花

## フロリダ大学留学体験記 11・12月

12月の上旬で秋学期が終わり、約1か月の休暇が始まりました。現在は春学期の履修登録を行ったり、旅行を楽しんだりしながらゆっくり過ごしています。今回のレポートでは11月と12月の生活を振り返りたいと思います。

### 1. テスト週間

学期末のテスト期間には、3000語以上が指定された最終レポートをいくつも仕上げる必要があり、とても大変でした。さらに、対面でのテストを実施する授業がほとんどだったため、毎日やることが多く、疲労が溜まりました。それでも、友達と一緒に勉強したり、レポートを書いたりした時間は学生生活らしさを感じられて楽しかったです。どの授業も興味深い内容だったため、学ぶこと自体は苦痛ではありませんでした。もちろん、良い成績を取ることも大事ですが、それ以上に自分の知識が広がり、新しい視点を得られる面白さを感じるようになりました。このような経験を通じて、学ぶ目的が変化していったように思います。

授業を受けていく中で、言語の壁が高いことを痛感する場面も多々あり、もっと英語の勉強が必要だと強く感じました。特に記述式のテストでは、英語で書く力も求められるため、慣れるのに時間がかかりましたが、徐々に点数が伸びていったことは励みになりました。ダンスの授業では、最終課題としてダンスショーケースを觀賞し、そのレポートを作成する必要がありました。授業の先生がイベントのクーポンを配布してくれたおかげで、15ドルのチケットを3ドルで購入し、觀賞することができました。このショーケースは日本ではなかなか見ることができないもので、コンテンポラリーダンス、サンバ、アフリカの伝統的な踊りなど、さまざまなジャンルが融合された楽しいパフォーマンスでした。太鼓や木琴を使った演奏もあり、文化を感じられる素晴らしい機会でした。

加点が得られる課題にも積極的に取り組み、自分自身で努力したり、友達の助けを借りたり、先生に相談したりと、さまざまな方法で秋学期をなんとか乗り越えることができました。春学期も、こんなふうに楽しく学びを深められたらいいなと思っています。

## 2. 気温について

11月から12月にかけては朝・昼・夜の寒暖差が大きく、体調や服装の管理が難しい季節でした。予想以上に寒く、日本からダウンジャケットやセーターを持

ってきていなかったため、急いで買いに行きました。また、外は寒いのに室内は暖かいという環境の違いに対応できず、11月は体調を崩しがちで、風邪気味の日は続きました。花粉も飛んでいたのかもしれませんが。頭痛薬や風邪薬、アレルギーの薬は必須だと思いました。

### 3. お楽しみ

12月になると、街中はクリスマスの準備でイルミネーションが飾られ、お店にはクリスマスツリーが並び始めます。友達に誘われてクリスマスパーティーに参加したときは、とても賑やかで楽しい時間を過ごしました。Drのお宅には多くの生徒が集まり、夕食を食べたり、出し物をしたり、歌を歌ったり、豪華な手作りスイーツをご馳走になったりしました。最後にはたくさんのクリスマスプレゼントをもらい、大満足のひとときでした。

12月下旬には、フロリダ旅行を楽しみました。念願だったオーランドのディズニーにも行くことができ、夢のような時間を過ごしました。そのときの写真も、以下に添付しておきます。



(↑クリスマスパーティーの写真です。)



(↑ディズニーの写真です。)